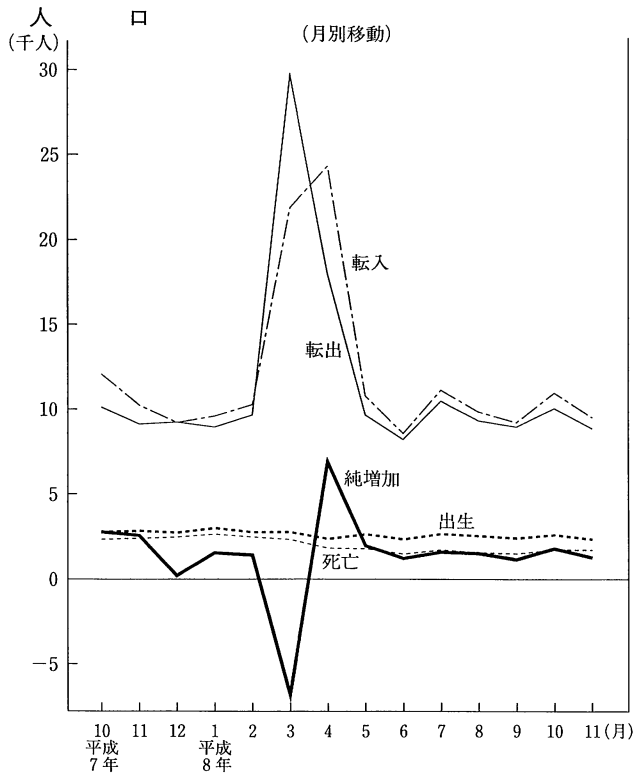
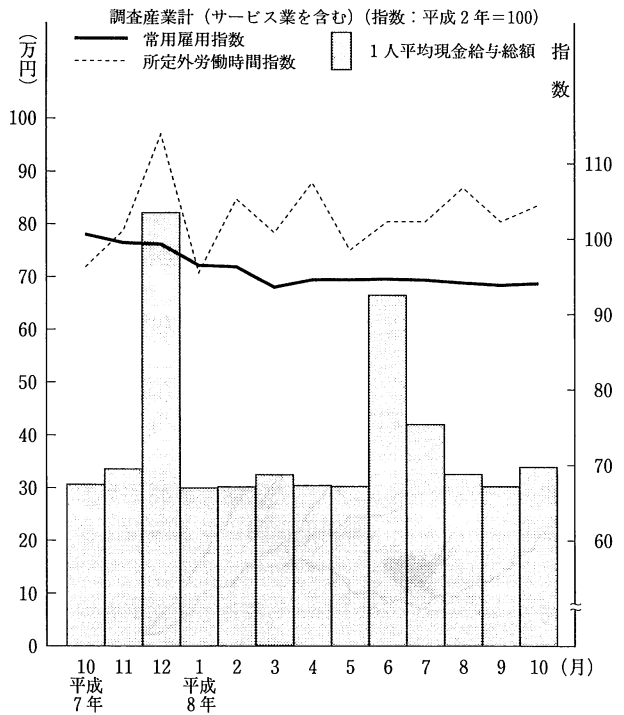


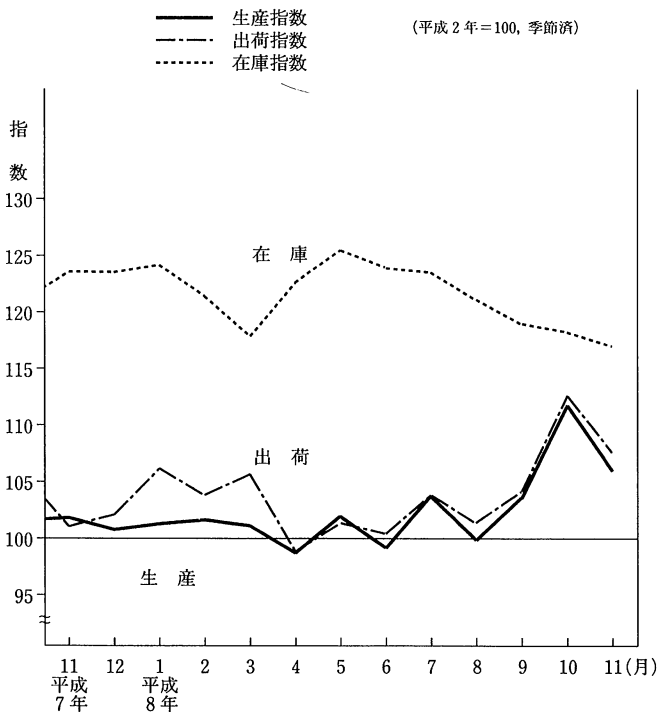
# 今月の主な動き



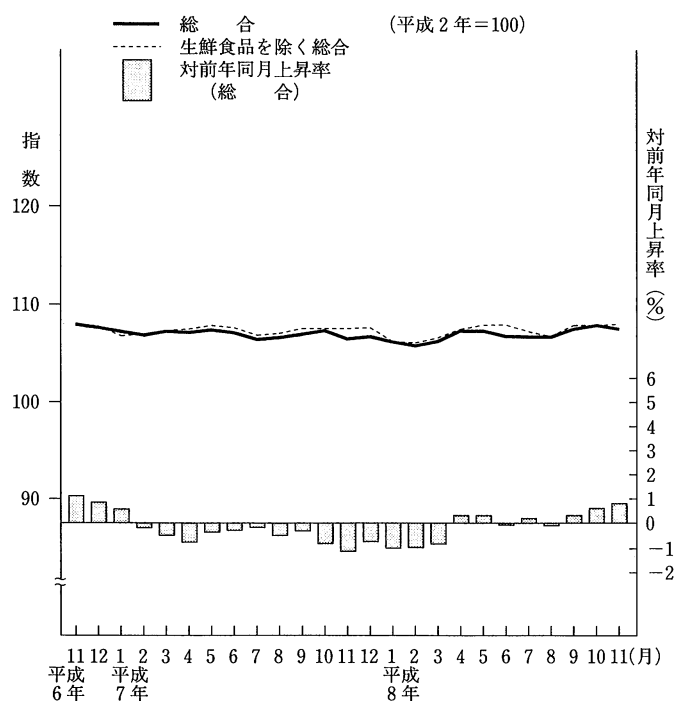
## 賃金・労働時間・雇用



## 鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



## 消費者物価指数



# 主な動きのあらまし……………企画部統計課

## ■人口（8年12月1日）

本県の人口は、11月中に1,269人増加し、12月1日現在で、2,971,837人（男1,484,631人、女1,487,206人）となった。

内訳は、自然動態で、622人（出生2,339人、死亡1,717人）増加し、社会動態で、647人（転入9,533人、転出8,886人）増加した。前年同月と比べると12,088人（0.4%）の増加で

ある。

市町村別では、増加が15市34町村、減少が5市30町村、増加なしが1村である。

世帯数についても11月中に1,073世帯増加し、941,448世帯となった。

## ■賃金・労働時間・雇用（8年10月）※8年2～9月分については、次号掲載します。

### 1. 平均賃金の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で303,874円、対前年同月比1.7%増、このうち、きまって支給する給与は301,741円、対前年同月比1.4%増であった。また、このうち、所定内給与は274,269円、対前年同月比1.6%減であり、超過労働給与は27,472円、対前年同月比2.5%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比12.0%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

### 2. 労働時間

10月の総実労働時間は、調査産業計で162.0時間、対前年同月比6.8%減であった。このうち、所定内労働時間は148.1時間、対前年同月比7.9%減、所定外労働時間は、13.9時間、対前年同月比8.5%増であった。

### 3. 雇用の働き

10月の雇用の働きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比6.5%減であった。

## ■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（8年11月）

本県における平成8年11月の“鉱工業指数”（平成2年=100）は、季節調整済指数で、生産が105.5、出荷が107.2、在庫が116.9で、前月比は、生産が6.2%の低下、出荷が5.2%の低下、在庫が1.1%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が3.8%の上昇、出荷が6.1%の上昇、在庫が5.0%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、石油・石炭製品工業、非鉄金属工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、繊維工業等が低下した。出荷では、非鉄金属工

業、石油・石炭製品工業、鉱業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、鉱業、その他工業等が上昇し、輸送機械工業、繊維工業、非鉄金属工業等が低下した。

財別にみると、生産では、その他用生産財が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。在庫では、その他用生産財、建設財が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

## ■消費者物価指数（8年11月）

平成8年11月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で107.5（平成2年=100）となり、前月比0.4%の下落、前年同月比0.8%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……他の光熱1.6%、衣料1.2%  
 今月の下がった主な項目……果物11.1%、野菜・海草7.4%、乳卵類1.9%、飲料1.9%

生鮮食品を除く総合は108.0となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比0.5%の上昇であった。

## ■費目別指数

（平成2年=100）

区 分	指数	上昇率（%）		区 分	指数	上昇率（%）	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.5	△0.4	0.8	保健医療	104.1	△0.1	1.1
食 料	104.4	△1.7	1.1	交通通信	98.7	0.0	△0.3
住 居	118.4	0.2	1.3	教 育	120.2	0.0	2.9
光熱・水道	102.4	0.1	△0.1	教養娯楽	108.5	0.4	0.6
家具・家事用品	93.9	0.4	△2.0	諸 雑 費	103.9	0.0	△0.6
被服及び履物	117.1	0.3	1.5	生鮮食品を除く総合	108.0	0.1	0.5